

天文3

## 「アスクレピオスの杖」

天文担当 鈴木 淳

## 1 救急車両の側面マークに注目

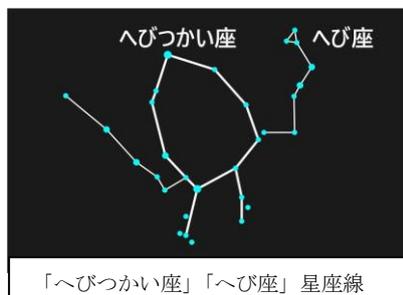


この始良市と霧島市の救急車の側面についているマークには、杖とその杖に絡まっている蛇が描かれています。

蛇の絡まる杖は「アスクレピオスの杖」といわれるもので、アスクレピオスとは、ギリシャ神話に登場する医者の名前です。

なぜギリシャ神話の登場人物であるアスクレピオスの杖が、救急車両のマークのデザインに取り入れられるようになったか紹介しましょう。

## 2 夏の星座「へびつかい座」と「へび座」



「へびつかい座」「へび座」星座線

夏の代表的な星座「さそり座」の「アンタレス」を北側に伸ばしていくと、将棋の駒の座「へびつかい座」があります。「へびつかい座」はアスクレピオスの姿が星座になったものです。そして「へびつかい座」にくっつくように伸びているのが「へび座」です。星座絵では1つの星座のように描か

れていますが、この2つは別々の星座になります。

「へびつかい座」で一番見つけやすい星は「ラサルハグェ」です。この星の名はアラビア語の「蛇を持つ者の頭」からきていて、実際の星の位置もアスクレピオスの頭の部分にあります。

この「へびつかい座」と「へび座」は、黄道上（地上からの見かけ上の太陽の通り道）にあるのですが、黄道12星座には含まれていません。そのため、ほかの誕生星座と比べてあまり知られていないのです。このほかに「へびつかい座」には9.5等と肉眼では見えない暗い恒星でありながら有名な「バナードの疾走星」と呼ばれる星があります。この星は、アスクレピオスの右肩近くにあり、地球からわずか6光年しか離れていないところを秒速140kmの高速で移動する天界一のスピード・ランナーの星です。しかし、この星は地球からの距離があるため、実際に地上から見ると、180年間に満月の半分くらい北側に動いて見えるだけです。

## 3 医の象徴アスクレピオス



博物館プラネタリウム星物語「名医アスクレピオス」

アスクレピオスが医の象徴として医療関係の車両に描かれるのは、どんな患者に対しても献身的に仕事をし、死者をも蘇らせるという評判の名医だったからです。また、蛇が巻き付いたデザインなのは、蛇は脱皮することから再生と若返りの象徴とされたり、蛇から取り出した毒が薬として利用できたりすることも理由として考えられます。